

やさしさ

だれもが安心して暮らせるまちづくりを

人権、環境イベントに協力

8月8日(土) 宍粟防災センターで、「クールアース&ヒューマンライツフェスティバル」(宍粟市、宍粟市教育委員会主催)が開催されます。

これは「差別をなくそう市民運動」推進月間にちなんで行われるもので、今年は市民の人権尊重意識の普及と平和や環境を守る取り組みを推進するというテーマで実施されます。

社協はこのイベントの障がいのある方や高齢者への市民の理解を深める企画として、4階全体を担当し、全面的に協力します。

企画の内容としては、車いす体験やアイマス体験でバリアフリーの大切さを実感できるコーナーや身近な日用品の中にあるユニバーサルデザインをアイマस्कをつけて見つけるクイズコーナー(賞品あり)、地上デジタルテレビでの字幕放送と解説放送の

上映、手話サークル「ひとみ」のみなさんによる手話教室などを行います。

このほかにも、1階フロアでは、市内の福祉施設や小規模作業所を紹介するパネル展示や作品紹介、製作グッズの販売などが行われます。

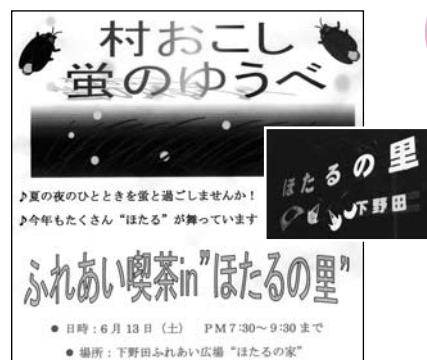
多くの方の参加をお待ちしています。

(山崎支部 阿曾秀樹)



平成19年の同イベントでの様子

いのちのみや



蛍の絵がかわいいチラシです

染河内川の入り口にある下野田自治会のしあわせ橋(つり橋)付近は、蛍の鑑賞ポイントです。

下野田の蛍は、染河内地区の下水道整備がされた平成7年頃より増えはじめ現在に至っています。

6月13日(土)、午後7時30分より「村おこし 蛍のゆうべ」(同自治会主催)が行われ、300名の方が下野田を訪れました。

神秘的な蛍の輝きに「わあ、すごい。」「蛍がいっぱい。」「こんな見たん初めて。」「...といった声が至るところから聞こえました。

この日は、ふれあい喫茶「ほたるの里」による、コーヒーやジュース、番茶の無料サービスがあり、見学者に振舞われました。



「しあわせ橋」からみる蛍の舞は幻想的! 当日も、神戸や明石、伊丹、大阪方面から蛍の鑑賞に下野田へ



ふれあい喫茶が、村おこし行事の盛り上げに一役がいました。スタッフのみなさん、ご苦労様です

また、同自治会長の芦谷博嗣さんは、「みなさまに、おもてなしと癒しの世界をお届けしたい。」と蛍のゆうべへの思いを語っておられます。今回は、蛍鑑賞やふれあい喫茶をミックスした下野田の取組みを紹介しましたが、このような地域の特性を生かした地域づくりを進めてみてはいかがでしょうか。

(本部・一宮支部 波多野好則)